

令和5年度 第4回松山地域協議会会議録

日 時 令和6年1月25日(木) 意見書の提出締切り(書面開催)
令和6年1月30日(火) 2役協議

場 所 松山総合支所2階会議室

出 席 者 2役 平向邦夫会長、木村美津枝副会長
事務局 鈴木啓介支所長、佐藤賢治支所長補佐

1 開会

市への提言書(案)を各委員へ送付し、25日を締切りとして皆様より意見書を提出していただいた。本日、その意見をどこまで反映するか調整し、松山地域協議会からの提言書として提出をしたい。

2 協議

○提言書「はじめに」への意見

(意見1)

「対岸の火事ではなく」を「市民の立場を市街地・中山間地に限定せずに常に市の未来を念頭に」に変更してはどうか。

(意見2)

「アイデンティティ」という表現は不必要でないか。どういう意味で使いたいのかわからない。
→ 「対岸の火事ではなく」は削除する。「アイデンティティ」とは一般的に「他とは違う独自のもの」、「独自性」、「個性」といった意味であり、眺海の森は他の地域にはない松山独自のものといった意図であるため残す。

○提言書「提言1 眺海の森さんさんの営業再開及び眺海の森の活性化について」への意見

(意見1)

冬季休業中であるが庄内町立谷沢の公民館ギャラリーに日曜日のみ営業で沖縄そばを営業している。松山地域でも南部地区でそばを提供しているが、提言書にあるチャレンジショップを是非お願いしたい。東北公益大学生も市内でラーメン店を起業した経緯もあるので新しく起業したい方に支援をお願いしたい。

(意見2)

以前は景色を楽しみながらさんさんのラーメンやソフトクリームを食べる目的で眺海の森に行ったが、飲食や休憩するところがなくなってからは足が遠のいてしまった。本当に休日だけでも営業できる店があったら行く人も増えると思う。小さな子供が遊べる遊具もあれば若い人も来るのではないかと。

(意見3)

さんさんの営業再開を強く希望する。せめて土日祝日の再開で足がかりをつけ、SNSでも集客し地元の活性化につなげたい。樹木が景観を損なっては楽しみも半減するので大きな樹木の伐採は再度県にお願いし、下刈り等はボランティアを募ったりして地域のシンボルを守っていく意気込みもみせていく必要があるのでは。

(意見4)

もう一度何故このような状態になったのか原因を深く追求し、市や一部識者の発案だけではなく、多くの人々のアイデアや協力をいただき、発展的及び持続性ある計画を立案していただきたい。「是非行きたい、また行きたい」と思えるような目玉があればいいのだが。

→ 前回の協議会の中で、新たにモノを作ることよりも、さんさんを早期に再開し眺海の森の活性化につなげることを最優先として考えると議論されていることから、景観の保全とさんさんの再開を第1優先として提言する。

○提言書「提言2 公共交通対策の充実について」への意見

(意見1)

「観光客向けのデマンドタクシー」を「市民をはじめ県内さらにはインバウンド観光客に対応した移動手段としての公共交通機関の新設を」に変更してはどうか。

(意見2)

「各高校へ（デマンドタクシーの）乗降場所の設置」を「現行のスクールバスの利活用の検討」に変更してはどうか。

(意見3)

「デマンドタクシーの利便性を高め」を「公共交通機関への働きかけを行い、シャトルバスを活用し」に変更してはどうか。

(意見4)

デマンドタクシーは開業して12年ほど経っているが、使いにくいところがあつて利用者が減っているように感じる。やはり利用者目線で通院買い物ができる利便性のある事業でないと残っていない。

(意見5)

松山からもイオンモール三川に行く人は多いが、無料シャトルバスが松山から無人で走るのは以前よりもつたいないと思っていた。松山に延伸というのはとてもすばらしい案だと思う。

→ インバウンド観光客の表現については、前回の協議会で複数の委員より発言があったことから追加する。ただし、デマンドタクシーではなく新たな交通手段の導入は現実的ではないことから、既存の枠組みであるデマンドタクシーの充実とイオンモール三川のシャトルバス

延伸を提言する。

○提言書「提言3 買い物弱者対策について」への意見

(意見1)

「支援策を実施するよう」を「支援策のひとつとして、とくし丸を運営するための応募、予算計上等支援を提案し、高齢者、障がい者等、買い物弱者救済が図られますよう」に変更してはどうか。

(意見2)

デマンドタクシーの利便性向上によって、買い物弱者対策にも効をなすが、1人で出掛ける不安のある高齢者が増えていくので、移動販売車が各地区を回って高齢者の安全安心の生活が成り立っていくはず。移動販売事業主への助成を行うことで、やってくれる人もいるはず。一般公募することもひとつかと思う。

(意見3)

2~3年前まで移動販売のナミちゃんマート様が来ていたのでいつも買い物していた方が、今はリュックをしょってワタライ商店様まで歩いて行っている。まだ歩ける人はいいが、今後のことを考えると、近くに来てもらえる移動販売はとってもありがたいと思う。

(意見4)

今、南部地区において買い物に対する意識調査を行っている。「まだ、運転ができるから。家族が買ってくるから」と本当に不便さを感じている人は少ない。アンケートの中に「免許返納後、利用したい」と多くあった。ただ一部とはいえ買い物弱者が存在し、今後増加する傾向にあるので、今のうちから具体的な対策をとらなくてはいけないと思っている。

→ 各地区を回っている移動販売車があると聞いている。ニーズ調査や業者への聞き取りなど現状分析が重要だと考えている。次回以降、現状を分析したうえで必要な具体的な支援を提言していきたい。

3 閉 会

(事務局)

1月31日が提言書提出の締切りとなっているので、明日まで最終の確認をお願いしたい。